

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成26年3月13日(木) (19:00~20:00)		
実施場所	八箇地区集落開発センター	参加人数	29人
参加対象	八箇地区内市民		
懇談内容	<p>1. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 八箇小学校が災害時の避難場所となっているが、避難場所の中に食糧の備蓄がどれくらいあるのかわかる範囲で教えてもらいたい。 <p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 八箇小学校の中にどのくらいの備蓄があるかははっきりとはわからない。食糧は賞味期限が徐々に切れてきているため、少しずつ買い替える予算を計上していかななくてはならない。現在は大型店舗などと提携しているため、道路が確保されるまでの2~3日をしっかりとストックしていく。 <p>2. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年の豪雨災害の際は、道路の被害や土砂の流入により、避難所である集落センターまで来るのが大変だった。また、交通網、電話、電気も完全にストップしてしまった。避難場所の水、食糧、電気を整備してもらいたい。 <p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 今までの経験からすると、災害発生から1日か2日分は最低必要ではないかと考える。とりあえず各避難所に水の備蓄について検討する。 <p>3. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落が分散しているため、災害があった際に孤立してしまう。水害の際は携帯電話が使用できなくなり、各集落との連絡手段がなくなってしまった。無線等の連絡手段があれば行動範囲も広がり情報収集もできるため、整備をしてもらいたい。 <p>市長</p> <ul style="list-style-type: none"> 無線については、平成28年に向けてデジタル化を進める。携帯電話が使えないなどの不測の事態にも対応できるようにしていきたい。 <p>4. 発言者</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災に伴う原発事故は大きな被害をもたらしたが、十日町市も 		

柏崎の原発に何かあった際には危険な区域になると思う。十日町市は、東電の原発の会議等に参加する資格はないのか。東電や原発に対して意見等を言うことはできないのか。どの程度原発に関する情報が入ってくるのか。

A. 関口市長

- ・東京電力の原発担当部署との会議等に直接参加することはないが、当市は意見を言えないということはない。また、事故があった等何か異変があった際には必ず連絡が来るよう協定を結んでいる。

5. 発言者

- ・あじさい公園のトイレが汲み取り式のため、蚊やハエが多く発生する。殺虫スプレーを設置する対応を取ったが、今後はトイレ自体を整備してもらいたい。

市長

- ・信越トレイルの大巖寺高原にあるようなバイオトイレがいいのではないかと考えるが、今後検討する。

6. 発言者

- ・特別養護老人ホームへの入所待機者が多く、自分たちも老後のために今から施設の申し込みをしようとしたができなかった。将来的に申し込みをしてから長期間待つことなく施設へ入所できるようにはならないのか。

A. 関口市長

- ・現在、入所待機者が市内に約 300 人おられる。今後、団塊の世代の皆様が後期高齢者になる頃には、一時的に待機者が 600 人以上に増えると予想している。現在も施設を計画的に増設しているが、保険料の増額になりかねないことから、今後はいかに在宅介護に支援をしていくかも重要である。まずは、往診等の体制を充実させたり、包括支援センターを増設するなどして、在宅で介護される方をできるだけ支援していく。

7. 発言者

- ・六箇小学校へは企業が入ったが、八箇小学校の活用についてはどう考えているか。

市長

- ・ぜひ地元の皆さんの意見をまとめていただきたい。八箇小学校に限らず空き教室を活用したいという話を多くいただく。老人の福祉施設や野菜工場、芸術祭関係でも使いたいなど様々であるが、地域で要望や方向性を出してもらいたい。

8. 発言者

- ・スクールバスが一日に数回走っているが、それに地域の人を乗車させることはできないか。

市長

- ・松代、松之山地域では実施しているので、この地区で実施するかは検討させてもらいたい。